住宅街の交差点

軽自動車と出合い頭に衝突、自転車の小6児童重体

< 2015年4月28日 16:51 >

２８日午後１時半ごろ、栃木県の住宅街で軽自動車と自転車が出合い頭に衝突した。この事故で、自転車に乗っていた小学６年の男子児童（１１）が頭を強く打ち、意識不明の重体。現場は**見通しの悪い、入り組んだ形の交差点**で、警察は事故の原因を調べている。

＜重大事故の増加＞

●**スピード**の出し過ぎによる単独事故や正面衝突事故
●**交差点**での歩行者・自転車の**巻き込み**事故

周囲の車の**急な動き**に要注意

歩行者・自転車・バイクの確認！見えたら　『先に行かせる』

荷台からの転落、手足の挟まれ事故に注意！

バック時は　**降りて**確認　**乗っても**確認

2時間ごとに、15分休憩！

追突、玉突き事故を防ぐ　交差点手前で止まる時は、**車1台分のスペース**を空けて止まる

交差点　「右左確認／よ～し！」

バス運転中に意識失う　あわや大事故、乗客ブレーキ

2015/04/28 11:47

京都市内の交差点で３月、停車中の市バスの運転手（３３）が**突然意識を失ってバスが動き始めた**ため、乗客の男性がサイドブレーキをかけて停止させていたことが２８日、市交通局への取材で分かった。乗客約１０人にけがはなかったが、**バスは交差点を通過して**おり、**大事故となる可能性**もあった。市交通局によると、市バスは３月１９日午前９時１０分ごろ、交差点で赤信号のため停車していたが、信号が青になったころに運転手がけいれんを起こして意識を失った。足がブレーキから離れ、バスは自動的に前進。異変に気付いた男性が交差点を渡り切った付近でサイドブレーキをかけ、停車させた。

乗客15人けが　観光バス追突、整備状況を聴取へ

2015年4月28日(火)14時11分

静岡県の県道交差点で27日夜に起きたツアー客を乗せた大型観光バス同士の追突事故で、病院に搬送された乗客28人のうち15人が首や頭に軽傷を負ったことが28日、警察のまとめで分かった。全員が同日午前までにほかのツアー客と合流したという。同署によると、追突したバスの運転手（65）は同署の事情聴取に対し**「ブレーキが効かなかった」**などと話しているという。現場は**下り坂の緩やかなカーブ**。同署は**車両の整備状況**などについて関係者に事情を聴く方針。

交差点、信号待ちの路線バスに車が追突

2015年4月27日(月)12時30分

26日午後4時45分ごろ、福島県の国道交差点で、会社役員男性（54）の乗用車が路線バスに追突した。バスには運転手男性と乗客3人が乗車していたが、けがはなかった。乗用車の男性にもけがはなかった。警察によると、路線バスは、**信号待ちで停止中**だった。

トラクター転落、運転の男性下敷き死亡

2015.4.27 08:48更新

２５日午後５時半ごろ、滋賀県の農道で、トラクターに乗っていた農業の男性（６５）が、トラクターとともに１・６メートル下の田んぼに転落。男性はトラクターの下敷きになり、間もなく死亡した。死因は窒息死。警察が事故原因を詳しく調べている。